

県議会議員

あらい、絹世の磯っ子レポート

夢と希望のある神奈川を



<http://www.araikinuyo.jp>

名称、12月15日締め切りにより公募中 堀割川磯子親水施設、来年3月完成へ

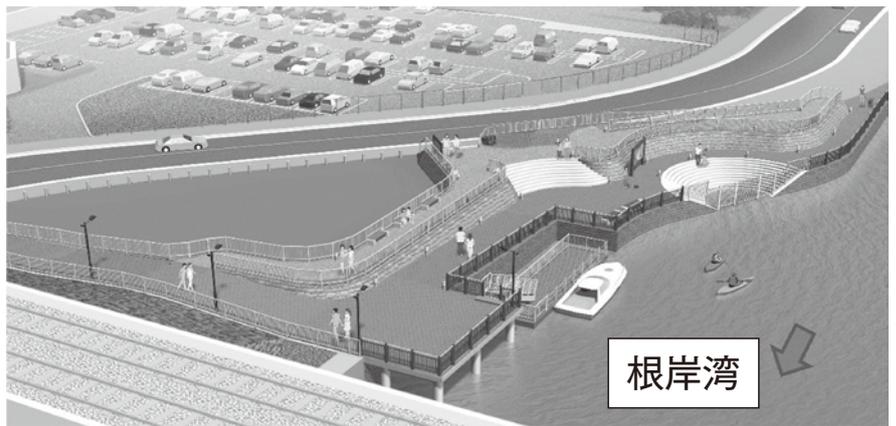
神奈川県横浜川崎治水事務所が2018年春から磯子区の堀割川べりの空き地で進めている堀割川磯子親水施設が2022年3月に完成する見通しとなり、同事務所ではこの名称を区関係者から公募することにしました。尚、施設の利用開始は4月からと予定されています。

同親水施設の建設は横浜市南部を流れる主要河川で、神奈川県が管理する2級河川の大岡川とこの支川を対象に再整備事業として1999年度から進めています。これまで大岡川北仲通地区の「大岡川夢パーク」、黄金町駅周辺地区の「大岡川桜棧橋」、蒔田公園地区の「ふれあいアクアパーク」、日ノ出町地区の「横浜日ノ出棧橋」が造られ、大岡川から枝分かれした人工河川（明治5年、横浜の港整備の一環として開削）の堀割川の河口付近に造られている磯子地区の親水施設は5か所目に当たります。

同施設の場所は堀割川右岸（二トリ磯子店側）で、根岸線ガード下から八幡橋付近。同施設は仮称が「棧橋・親水広場」。浮棧橋が設けられているため、ここを使って船やカヌーなどの乗り降りに使うこともでき、災害時の船による緊急物資などの運搬にも活用できるといいます。

名称の公募は11月1日発行の「広報よこはま磯子区版」に募集案内が掲載されており、応募対象は磯子区在住・在勤・在学者。12月15日必着で締め切りますが、12月中にメンバー数人による名称選定委員会を設立し、選定することになります。応募は1人1点とするなどの注意点も示されています。

完成イメージ図



根岸湾

コレが言いたい!

神奈川県が管理する2級河川の大岡川とその支川を対象に親水施設再整備事業が、磯子区内でも来年度いよいよ完成する予定で、今月から名称の募集も始まります。

親水護岸が整備される堀割川は、明治初期に開削され、横浜市の水運、治水対策等に大きな役割を果たし、長大な石積護岸は当時の面影を残すことから、2010年度に土木学会から土木遺産に選奨されました。また、親水護岸が整備される周辺はかつて海岸でした。そうした歴史が感じられ、磯子区民に親しみが感じられる名称になることを期待します。

今月のひと言

11月は、「子供・若者育成支援強調月間」。ほっとできる「居場所」がない—そんな子供が・若者が増えています。県では、さまざまな悩みについて、コミュニケーションアプリ「LINE」を活用した相談窓口を開設しています。
相談時間：水、金、土曜日13時～16時（年末年始除く）。



磯子あれ?これ?

常林山 妙蓮寺 (磯子区田中)

当寺の開創の元となったのは、田中の領主で笹下城の城主でもあった間宮新左衛門直元の室(妻)、智性院法祐日富(禅定尼)です。

日富は、寛永17(1640)年、当地に草庵を建て杉田妙法寺第10世常林院日林聖人を招き、法話を聞く催しを開くと、多くの土地の人たちが訪れ、中には法話を聞き改宗する人もいました。

日林聖人が承応2(1653)年に遷下したのち、妙法寺の日心聖人と日富が協議して日富が開基となり、開山を日林聖人、日心聖人を二世としました。山号は、日林聖人の尊号に因んで「常林山妙蓮寺」と名付けました。

寛文年間(1661~)間宮家が下総の印旛に移り、妙蓮寺は大檀那を失い衰退していきます。その後は、火災など幾度かの災いにあいながらも復興しましたが、昭和52(1977)年に本堂が全焼、昭和55(1980)年に檀信徒の協力を得て、建て替えられました。また平成27(2015)年4月に寄附により、鐘楼堂も建立されました。

参考:磯子の史話、住職のはなし

活動報告

第三回定例会に提案された補正予算に対し賛成討論を行いました。

新型コロナウイルス感染症の新規感染者は減少しているものの、今後第6波の到来が予想され、感染拡大防止対策の継続や、医療提供体制の充実強化は引き続き必要になります。そうした中、県では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(事業者支援分)の不足や大規模施設等協力金に係る地方負担の引上げ、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金の使途の制限などにより、独自財源を確保せざるを得ず、その結果、財政調整基金の大幅な減少など、厳しい財政運営を余儀なくされています。地方創生臨時交付金の配分については、感染拡大の影響が大きい都市部に優先されるべきであり、感染状況やその影響の度合いに応じた配分方法に変更することを指摘。また、緊急包括支援交付金について、現状ではコロナ対策であっても使途が制限されることがあるため、運用を見直し、地方公共団体の判断による柔軟な活用が出来るよう国に求める事などを県に要望しました。



あらい絹世 プロフィール

- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井(株)/株メタルワン
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 平成31年4月 県議会議員3期目当選
- 産業労働常任委員会委員
- 安全安心特別委員会委員
- 自民党県議団政務調査会筆頭副会長
- かながわ自民党女性議員局長

